

留学体験レポート

国際学部 2年 櫻岡椎奈

1. はじめに

4か月のアメリカ留学は日本では体験できないような貴重な期間でした。たくさんの思い出ができましたが、今回は特に印象に残った出来事についてまとめました。

2. ESL のクラス

ESL の先生は Mrs. Hardee と Mrs. K という二人の女性の先生でした。初めは授業についていけるか不安でとても緊張しましたが、とても気さくで明るい先生方なので、楽しく授業に参加することができました。分からないことなども分かりやすく、丁寧に教えてくれました。ネブラスカ州、カンザスシティ、地元の高校へのフィールドトリップもあり、非常に充実したプログラムでした。クラスメートには韓国人、中国人、サウジアラビア人、メキシコ人がいて、とてもフレンドリーでした。何気ない会話はもちろん、お互いの母語を教え合うなど国際交流もできました。

3. ノースウェストミズーリ州立大学でのイベント

大学では毎日イベントが開催されていました。アメフトやバレーボールなどの試合や生徒たちの演奏会、映画上映会など様々でした。その中でも私が積極的に参加していたのは International Coffee Hour という、様々な国籍の学生が集まってお話をするイベントです。コーヒーやクッキーを食べながら、お互いの文化について話したりしました。このイベントを通して友達もでき、日本に興味を持ってもらえました。

4. FIS ファミリーについて

私の FIS ファミリーは Bob と Marilyn という温かな優しい老夫婦でした。サンクスギビングブレイクの間は彼らの豪華な家にお邪魔して、アメリカの生活を体験しました。サンクスギビング当日は彼らの親戚の家にお邪魔して、七面鳥やパンプキンパイなどの伝統料理を食べました。また、ブラックフライデーは彼らの息子夫婦と買い物に行き、アメリカならではの体験ができました。サンクスギビングが終わってからはお部屋の飾りつけが一気にクリスマスモードになりました。一緒にクリスマスツリーの飾りつけをしたのも良い思い出です。他にも毎晩映画を観たり、犬のソフィーやお孫さんたちと遊ぶなど、とても充実した期間でした。サンクスギビング以外にも美術館やバードウォッチング、食事などに連れて行ってもらい、ファミリーと過ごした時間は本当に幸せで、最高の思い出となりました。

5. おわりに

4か月という短い期間ではありましたが、今回の経験により自分自身を見つめ直すことができました。このアメリカ留学で携わってくれた先生方、FISファミリーには非常に感謝しています。また、今まで英語を勉強してきた良かったと思うこともありますが、自分の未熟さを実感することも多々ありました。今回の経験を活かし、これからも英語を学び続けていこうと思います。